

## 絶飲食をお願いする理由

普段の生活では食べ物や飲み物が気管に入つてゝむせてゝ強い咳が出る場合がありますよね？これは健康を守る重要な機能です。食べ物で喉がつかまって窒息したり、胃液の酸や酵素で肺炎になると命に関わることです。咳もできないようにしている全身麻酔中に嘔吐してしまうと大変です。だから胃の中を空にしておくことが大切です。

絶飲食の時間は、食事は8時間、軽食や人工乳は6時間、母乳は4時間、水やお茶は2時間以上と麻酔のガイドラインに記載されています。小さなお子さんの場合は、脱水にならないよう、こまめに時間を守って頂くように説明しています。

しかし、大人の手術の時は、手術開始時間が変更になる可能性もありますので、食事水分も前日までとされていることが多いです。実はどれ位の絶飲食時間で胃の中が空になるかは状況によって違います。強い痛みがあつたり緊張している方は、いつまでも胃の中に食べ物が残っていることがあります。食べ物が胃に残っている時でも、緊急を要する手術の時は、特別な配慮の下、麻酔を安全に行うことは可能です。麻酔をかける時には、お一人ずつの状況を判断しています。

最も危険なことは、本当は食べてしまったが食べていないと嘘をつくことです。何も食べていない人と同じ麻酔が行われると大変なことになる可能性があります。

手術前の絶飲食が大切なことを理解していただけたでしょうか。

## ドクターからの健康アドバイス

手術前の絶飲食は
大切です



愛染橋病院  
麻酔科

福光一夫

手術前には絶飲食して頂くように皆さんにお願いしています。このことが特に全身麻酔の時には大切なので理由を説明いたします。

## 全身麻酔は特別です

〓お腹がすいていると寝にくいのでは……？  
なんてことは考えないでください。全身麻酔中は強い薬で非常に深い眠りにして安全な人工呼吸をしています。手術をしても全く目が覚めませんので大丈夫です。

それだけではありません。無意識の状態で体が動いてしまうと危険ですので、全身麻酔の最中はピクリとも体が動かないようにしています。咳もくしゃみも出ないようにしていますので、正確で安全な手術が受けられます。しかし、この咳もできなくなっている状態が非常に特別なので、少し詳しく説明します。